

今回のテーマは

すいとう

# 『水痘（みずぼうそう）』

石巻  
保健所  
感染症  
かわら版

現在、石巻管内で水痘と診断される方や、保育施設等での集団発生が報告されています。

## 水痘（みずぼうそう）ってどんな病気？

- 水痘にかかったことがない（免疫がない）方が初めて水痘ウイルスに接触した際に、2～3週間後に発症します。
- 主な症状は発熱、全身性の発疹（赤い発疹⇒水ぶくれのような発疹⇒かさぶた）です。
- 麻疹（はしか）や結核と同様に空気を介して感染します。症状がでる1, 2日前から周りへ感染させるおそれがあります。
- まれですが重症化すると脳炎を合併することもあります。また、免疫力の落ちている方が罹ると生命の危険に関わることもあります。
- 水痘にかかった方のうち1～3割の方は、体内に潜伏していたウイルスが再活性化して、帯状疱疹（つつらご）を引き起こすことも知られています。

### 水痘を予防するために



- **予防には2回のワクチン接種が有効です。**定期予防接種で生後12～36ヶ月未満（1歳から3歳のお誕生日前日まで）のお子さんに、3ヶ月以上の間隔をあけて2回接種を行います。1回接種で水痘発症のリスクは77%減りますが、2回接種により94%まで減らすことができます。まだのお子さんは早めに受けましょう。
- **予防接種の費用は3歳のお誕生日前日までは無料です。**それ以降は原則有料ですので医療機関にご相談ください。（2018年11月現在）
- 水痘が疑われた場合は無理せずに学校等は休み、医療機関を受診し医師の指示に従いましょう。受診する前には医療機関へ電話で症状を伝え、指示にそってマスク着用で受診してください。
- 学校等を休んだ場合の登校開始日は、全ての発疹が痂皮（かさぶた）化してからです。



### 感染症 TOPICS

保健所長(小児科医) 鈴木

## 『水痘と帯状疱疹とワクチン』

じつは、水痘が治った後もこのウイルスは体内（神経節）に留まります。この段階ではウイルスが「仮眠状態（潜伏感染）」であるため、人にうつすことはありません。しかし、加齢やストレスなどにより抵抗力が弱まると、このウイルスが活動をはじめます（再活性化）。ウイルスは神経に沿って暴れ出すため、体の一部に限局した発疹がでます。これが帯状疱疹です。こどもへの水痘ワクチンが広く普及するに従い水痘患者は減ったものの、帯状疱疹の患者数が増えてしまいました。将来的には、水痘ワクチンは高齢者を対象とした帯状疱疹予防目的へ移行していくのでしょうか。